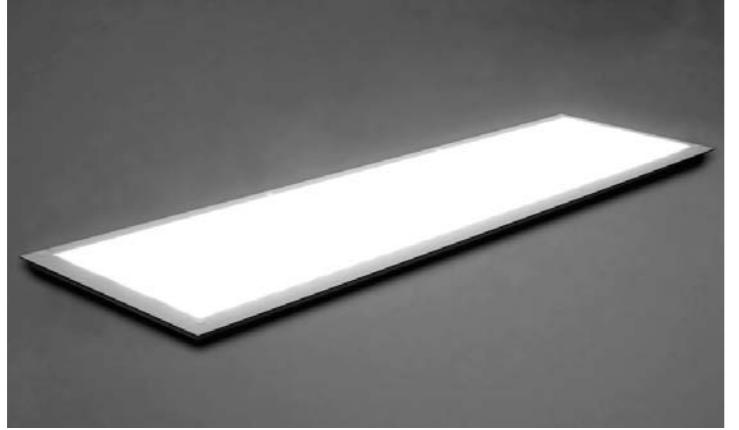




京セラの太陽光発電システム。納入先は住宅用から学校、商業用まで多岐にわたる

自然・省エネ機器 脚光 コスト減、競争力強化への一歩



タムラ製作所のLED照明「ボードライト910」。薄型かつ天井埋め込みタイプのため、安全性が高い。

停電予防策でUPS特需

今後予想される大規模停電の予防策として、無停電電源装置(UPS)を設置する企業・家庭が増えており、UPSは電力供給のトラブル時に電気を止めることなく給電し続ける電源障害装置。停電などの際に、コンピューターを安全にシャットダウンする。

工場・家庭待つたなし

停電予防策として、無停電電源装置(UPS)を設置する企業・家庭が増えており、UPSは電力供給のトラブル時に電気を止めることなく給電し続ける電源障害装置。停電などの際に、コンピューターを安全にシャットダウンする。

日本向けを優先的に出荷する体制を整えた。特に需要が高まっている小型製品については通常の船便から航空便に切り替えるなど、より迅速な荷体制に移行している。

このほかにも、被災した地域の学校・病院のAPC製UPSを無償で新しいUPSに交換している。データセンター(D

東日本大震災で各地の発電所が停止し、電力不足の長期化が避けられない日本。今後は電力供給を無事乗り切るために、原子力に頼らない発電システムや、工場や事務所、家庭の節電が重要な課題となっている。しかし、節電対策はただの緊急避難的な措置ではなく、長期的にはコスト削減やグリーン化といった日本企業の競争力向上へつながる。電機・電子部品業界は再生可能エネルギーの推進やLED照明といった省エネを支える製品・サービスを展開し、日本経済やインフラを支える。



まっている。電子部品メーカー大手の京セラは太陽光発電システムに力を入れている。しかし、停電時に手動でパワーコンディショナーのスイッチを切り替えることで自立運転機能が働く。一方、同社が販売する内、商業施設向けでは最大級となる「イオン伊丹市」(兵庫県伊丹市)に発電容量960キロワット(5台)を納入している。

3月には太陽電池セル

を広げている。一方、同社が販売する住宅用太陽光発電システムは、停電時でも太陽光発電による電力が利用でき

てきた再生可能エネルギー

のため、大規模停電に陥った際でも、テレビや携帯電話の補助電源として役立つ。

さらに、持ち運びができるモニター「エコノナビット」を使えば、発電状況や消費電力、売買電力などの情報を随时把握することができる。毎月

20枚を使用した出力77・5ワットタイプのモジュール

を追加し、これまでの同

46台と同62台タイプの2種類と、効率良く組み合

わせることで設置容量が向上。従来比で屋根全体の出力が30%高まる

京セラは住宅用だけでなく、商業や公共施設向

は一般家庭の約210世帯に達する。

内、商業施設向けでは最大級となる「イオン伊丹市」(兵庫県伊丹市)に発電容量960キロワット(5台)を納入している。

一方、同社が販売する内、商業施設向けでは最大級となる「イオン伊丹市」(兵庫県伊丹市)に発電容量960キロワット(5台)を納入している。

内、商業施設向けでは最大級となる「イオン伊丹市」(兵庫県伊丹市)に発電容量960キロワット(5台)を納入している。

内、商業施設向けでは最大級となる「イオン伊丹市」(兵庫県伊丹市)に発電容量9